

京都市ごみ減量推進会議 令和3年度  
「市民等からの提案によるごみ減量モデル事業」

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

応用芸術研究所

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日

# リユースドライブ

## SNS (LINE) を使ったリユースコミュニティの形成と実践

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

一人暮らしをしている大学生たちに...  
皆さんの家の中にある使わないもの  
譲って頂けませんか？



家の中にある色々な物。処分したいけどごみに出すとお金も掛るし  
もったいない...でも、フリーマーケットに出店する気力も体力もない...  
といった、気持ちと行動の「あいだ」で、いつの間にか家の中に積  
みあがっている使わない物・余っている物（家庭内ストック品）を、  
欲しいけど買えない！と困っている大学生に譲って頂けたら！？

この取り組みは

あなたの不用品を必要としている大学生に届ける  
スマホを使った地域密着型リユースの仕組み♪  
～リユースドライブ～

をつくる試みです



発表者：応用芸術研究所 片木孝治

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日

## ◆本事業の目的と活動内容

- ①地域・多世代が連携するリユースの仕組みづくり。  
→若者層に対する、ごみの減量意識の啓発と実践への入口づくり。  
→地域ごみ減（中高年層）と大学生（若年層）との関係づくり。
  
- ②物/時間/場所をストックレスにするスマートなリユースの仕組みづくり。  
→場所と時間に制約されない「SNS（LINE）」上でのマッチング。  
→疲れないリユース、無駄のないリユース。
  
- ③「仕組み導入」の際の説明会等をDX化する仕組みづくり。  
→事業概要の動画作成により、事業説明を24時間体制にする。  
→ZOOM等、非対面のオンライン会議の推進。

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

# これまでのリユース活動（フリマ/バザーなど）

イベント当日まで物品をストック



取引されなかった品は移動

# ラインを使ったリユースドライブ

リアルタイムで情報交換



確実に取引される品だけ移動

京都市ごみ減量推進会議 令和3年度  
「市民等からの提案によるごみ減量モデル事業」

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

## リユースドライブの活動工程全般をデジタル化する

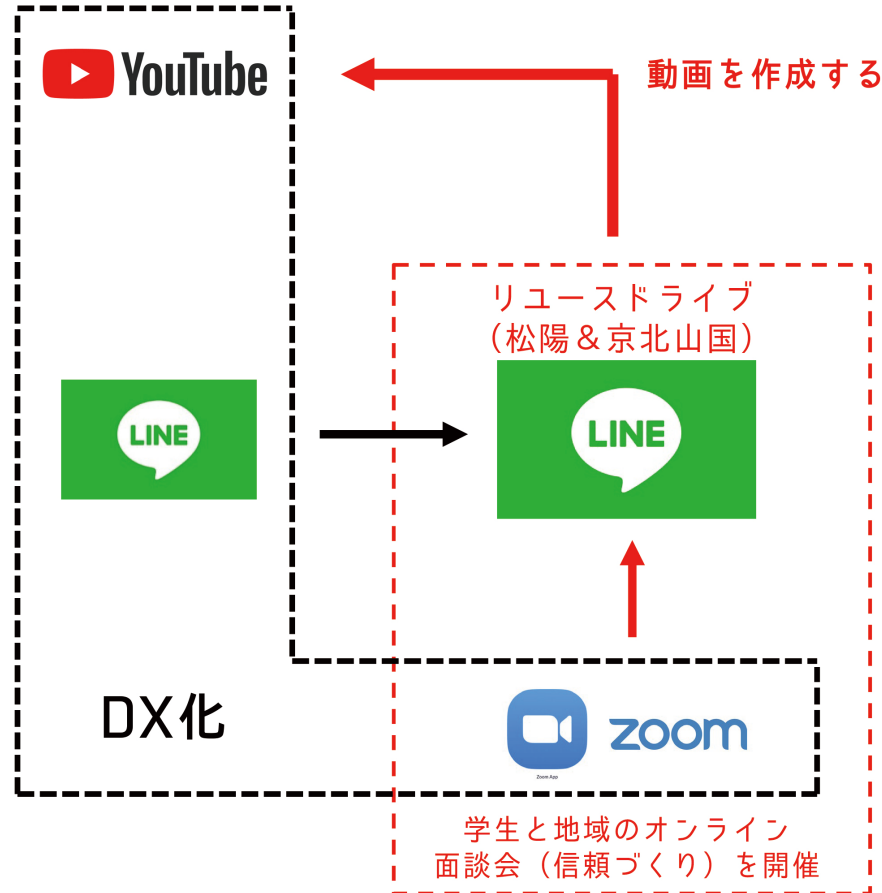
説明・講習会の概要を  
動画配信することにより  
本モデルを導入する前に  
構造の理解を高めて頂く。

前向きな  
理解をした

興味関心  
参加参入

オンラインエクスカージョン

地域単位ではなく、興味関心  
のある地域役員の個人単位で  
①：2地区のドライブに参加  
②：地域を限定しないフリー  
ドライブを作り実践する。



～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

京都市西京区松陽学区  
＋  
京都経済短期大学

小島理沙教授

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日

**本事業（リユースドライブ）に興味・関心を持って頂いた  
京都経済短期大学の小島理沙教授と連携した取り組みを実践。**

- ・ 7月9日 : 京都経済短期大学にて、ゼミ生にリユースドライブの説明会
- ・ 7月29日 : 松陽学区地域ごみ減 説明会&アプリ講習会
- ・ 10月21日 : 松陽学区地域ごみ減 アプリ講習会&小島先生ご挨拶
- ・ 10月29日 : 小島ゼミにて、学生プログラム ノウハウ提供
- ・ 11月12日 : 小島ゼミにて、学生プログラム ノウハウ提供
- ・ 11月26日 : 小島ゼミにて、学生プレゼン チェック
- ・ 12月3日 : 経済短期大学学生による松陽学区でのリユースドライブプレゼン
- ・ 12月3日～27日 : 松陽学区地域とのマッチング期間
- ・ 12月27日 : 引き渡し会の実施

京都市ごみ減量推進会議 令和3年度  
「市民等からの提案によるごみ減量モデル事業」

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日

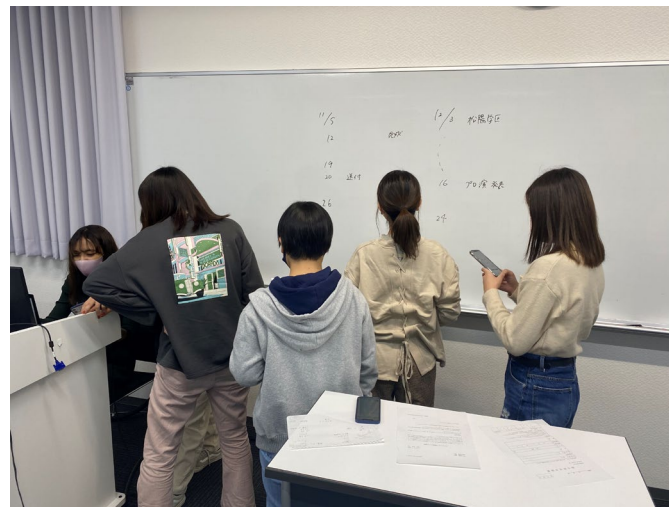
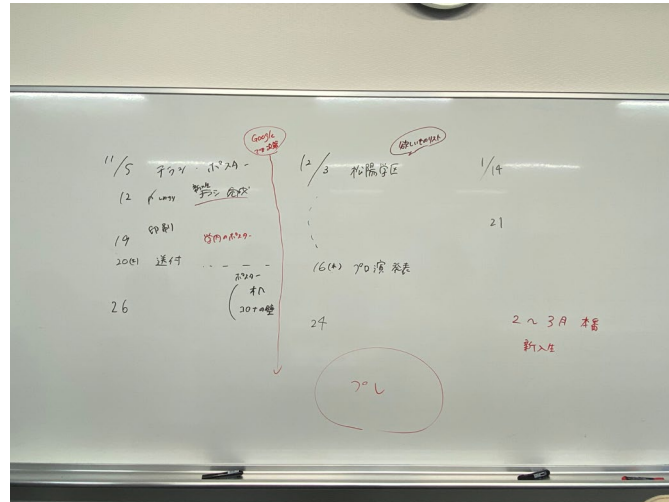
# 松陽学区と京都経済短期大学の取り組み。

小島先生指導の下、ゼミ生13名が、学内調整班（バック）と学外調整班（フロント）に分かれて、リユースドライブの調整をスタート。

全校生徒約400名に加えて、次期新入生も含んだ告知（入学案内等）を整える体制。計画は、12月末に試験運用を行い、3月末に本格的なリユースドライブを実施する。

## ■学内活動の様子@京都経済短期大学

グランドスケジュールを検討しながら、役割り分担と、作業フローを作成。片木からのリユースドライブ説明資料を参考に意見交換会を実施。



京都市ごみ減量推進会議 令和3年度  
「市民等からの提案によるごみ減量モデル事業」

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日





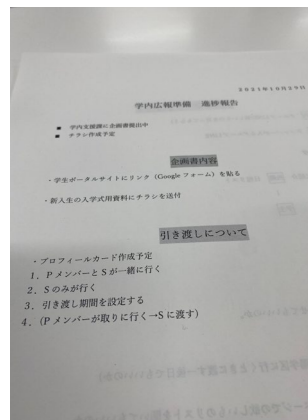
# 松陽学区と京都経済短期大学の取り組み。

小島先生指導の下、ゼミ生13名が、学内調整班（バック）と学外調整班（フロント）に分かれて、リユースドライブの調整をスタート。

全校生徒約400名に加えて、次期新入生も含んだ告知（入学案内等）を整える体制。計画は、12月末に試験運用を行い、3月末に本格的なリユースドライブを実施する。

## ■学内活動の様子@京都経済短期大学

学内班は、校舎内に活動告知のポスターを作成。コロナ禍で仕切られた隔壁1枚1枚に掲示。QRコードから、アンケートフォームに飛べる様に工夫を凝らして、学生からの欲しい物の情報収集をする準備を整えていた。



京都市ごみ減量推進会議 令和3年度  
「市民等からの提案によるごみ減量モデル事業」

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日

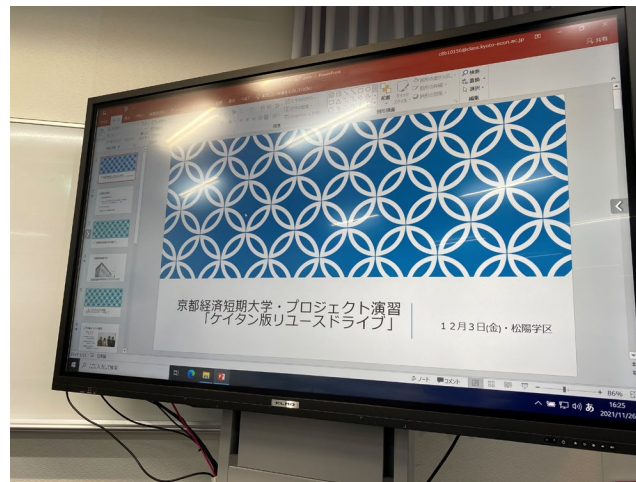
# 松陽学区と京都経済短期大学の取り組み。

小島先生指導の下、ゼミ生13名が、学内調整班（バック）と学外調整班（フロント）に分かれて、リユースドライブの調整をスタート。

全校生徒約400名に加えて、次期新生も含んだ告知（入学案内等）を整える体制。計画は、12月末に試験運用を行い、3月末に本格的なリユースドライブを実施する。

## ■学内活動の様子@京都経済短期大学

学外班は、地域方々へのプレゼン方法についての工夫を考え、実際にLINEを使って、どのようなマッチングが可能となるかを検討。



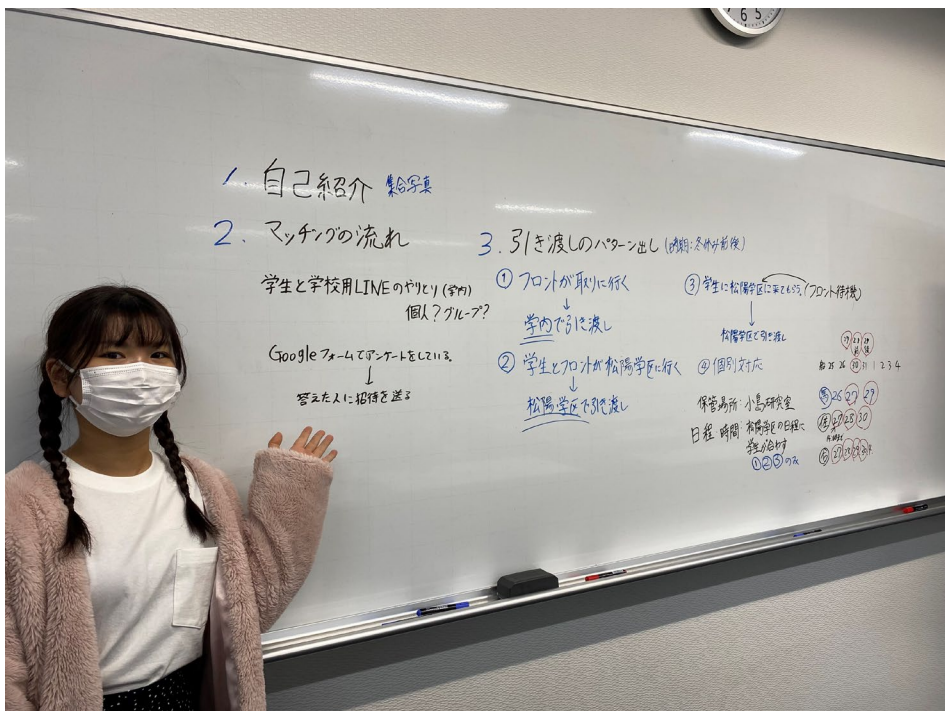
京都市ごみ減量推進会議 令和3年度  
「市民等からの提案によるごみ減量モデル事業」

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日



## 松陽学区と京都経済短期大学の取り組み。

小島先生指導の下、ゼミ生13名が、学内調整班（バック）と学外調整班（フロント）に分かれて、リユースドライブの調整をスタート。

全校生徒約400名に加えて、次期新入生も含んだ告知（入学案内等）を整える体制。計画は、12月末に試験運用を行い、3月末に本格的なリユースドライブを実施する。

### ■学外活動の様子@松陽小学校

京都経済短期大学の学生たちからのプレゼンテーションと松陽学区地域ごみ減メンバーとの意見交換会。



京都市ごみ減量推進会議 令和3年度  
「市民等からの提案によるごみ減量モデル事業」

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日

## 松陽学区と京都経済短期大学の取り組み。

小島先生指導の下、ゼミ生13名が、学内調整班（バック）と学外調整班（フロント）に分かれて、リユースドライブの調整をスタート。

全校生徒約400名に加えて、次期新生も含んだ告知（入学案内等）を整える体制。計画は、12月末に試験運用を行い、3月末に本格的なリユースドライブを実施する。

### ■学外活動の様子@松陽学区

学生たちが松陽学区地域へ赴き、リユース品を回収にまわる。今回は、コロナ6波の影響もあり、限られたメンバーで回収し、学内学生には、大学にて引き取りを行った。



京都市ごみ減量推進会議 令和3年度  
「市民等からの提案によるごみ減量モデル事業」

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

# リユースドライブ 活動説明動画

はじめに編／活動概要編／LINE操作編／活動実践編

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

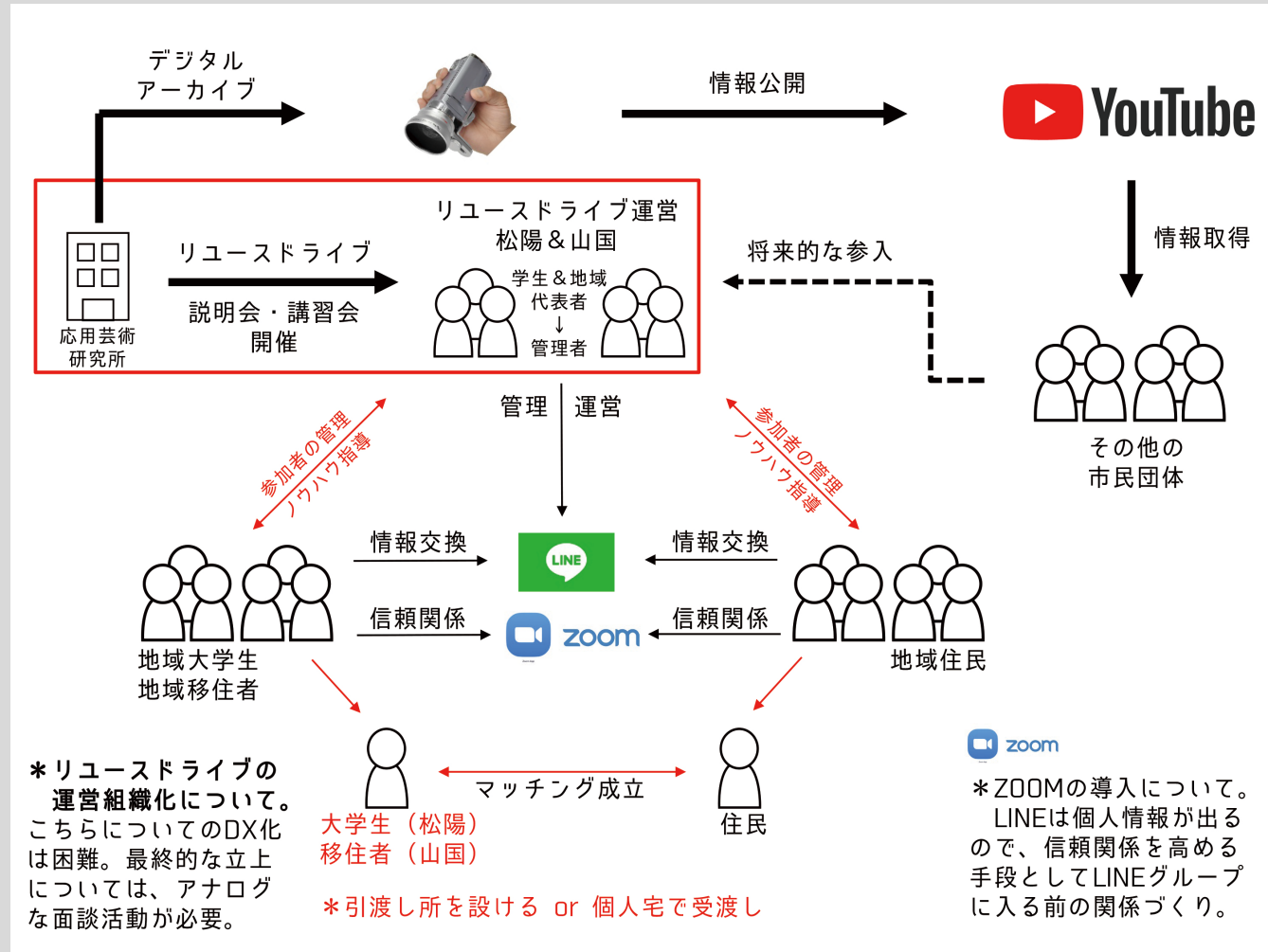
オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日



リユースドライブ  
はじめに編



リユースドライブ  
概要編



リユースドライブ  
操作編



～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化



発表者：応用芸術研究所 片木孝治

オンライン  
中間報告会  
2022年2月22日

## ◆今後の取り組み計画について

- ・ 3月末に松陽学区と山国地区で年度末切り替え時期のリユースドライブを実施（予定）
- ・ リユースドライブの導入説明動画をYouTube配信スタート（3月予定）  
\* 学生との連携版（事例紹介）
- ・ 山国地区でのリユースドライブにて、移住者との連携版（事例紹介）を撮影収録し、説明動画に追加。3月末にYouTube配信スタート（予定）

～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

発表者：応用芸術研究所 片木孝治



～申請事業名～

地域・多世代連携で家庭内ストック問題を  
削減するリユースモデルのDX化

ご清聴ありがとうございました

発表者：応用芸術研究所 片木孝治